

6

2019
June

轉

て
ん

教

ぎ
よ
う

信のとびら

伝える心

6月のご奉公のすすめ

6月のお寺の行事予定

4月のご奉公目録

目尚上人御十七回忌法要
佛立本旨講創立記念式典
六角堂奉告式

今年度のご奉公テーマ「助行のすすめ」

諦めないご奉公
佐藤応昇師

私のよこび

娘たちのご利益

母の初めてのお懺悔からのご利益

後続者育成活動報告

こどもたちの会

南無妙法蓮華経ってなあに？！



佛立本旨講妙應寺



伝える心

開導聖人のご教歌に、
へんに物をしふる時は

さもあらで

覚えさせたる

あとぞうれしき

とのお示しがあります。

共に喜ぶために

意味は、ものを教える時
や教えることよりも、相手
が教えられたことを覚えて
くれたことが喜びだ。教え
がいがあったその事の方が

非常に嬉しい、との御心を
詠よまれたものです。

何かを伝えようとして
も、相手がそれを拒否した
り覚える気が無ければ教え
甲斐はありません。伝えた
ことを相手が覚えてくれ
て、はじめて共に喜べます。

諦あきらめてませんか

相手に信心の大切な事を
伝える為には、教えに則つ
た自分の体験を話す事が非

常に大切です。話すとき
に皆が理解し共感し、実行
に移してくればこれ程嬉
しいことはないでしょう。
しかし、そう簡単に人に伝
わるものではありません。
すると、伝えようとしてい
る人は、「あの人は信心が
ないから」などと、こちら



の見立てで判断し、諦めてしまうことも多いのではないのでしょうか？

我々、教務や役中は教区班内の信者に教えを伝えることが大切な役目です。その我々が、一度や二度話したくらいで伝わらないと「あの人は信、心がないから」などと見限^{みかぎ}ってしまうのは、弘通ご奉公としてはいかなものでしょう。伝わらなければ、伝わるように工夫を凝らし、話を伝える時期を見計らうとか、言い方を変えるとか例を色々あげるなど、長期計画で諦めない心が肝心です。そのた

めには、こまめに連絡を取ることが重要になります。

先ずはご祈願から

また、参詣将引も同様です。お講参詣に誘っても来ない信者はたくさんいます。参詣将引の祈願を立てて参詣者を増やす努力をしていますか？縦や横の繋がり、親戚や縁者の協力を得てお講参詣を勧めてください。他教区からの応援参詣も結構です。教区や連合や地区にとらわれず、多くの方に協力してもらいましょう。

何事であれ、人に伝えるという事は、容易ではありません

ません。あらたな信者の発掘や育成の為に、今我々が伝える努力を惜しまないことです。それが、妙應寺の発展に繋がることは間違いないありません。教区が安定しているからそれで良い、などと思わず、教区が、今以上に活発な動きが出て発展していくようにご奉公させて頂きましょう。

元号が平成から令和に変わった節目、全信者一丸となって教化活動や信行相続に、一層力を入れ佛立本旨講発展のためご奉公させて頂きましょう。

今年度の御奉公テーマ「助行」

6月は夏のお会式開導会の月です。開導聖人の開講がなければ、私たちが日蓮・日隆両祖の信心を知る由よもありませんでした。開導聖人への報恩感謝の思

いで、開導会の参詣将引はもろんのこと、若手後続者がこの良き因縁を手放さないよう開講本旨の実行をすすめる「助行」に励みましょう。

今月の「随喜轉教」

御宝前のお陰や頂いた喜びは独り占めせず、すすんで他人にも家族にも伝えましょう。乗りこえた苦労談や応援祈願は、今まさに苦しみを感じている人に

とってどんなに励みになるか計り知れなません。「人の幸せを祈る信者になります」の実践を勧めあいましょう。

来月の「ご奉公のポイント」

一、夏期参詣について

夏期参詣は7月1日月から7月31日水までの31日間です。勤行は7時から8時30分、ご法門

は7時45分からです。日曜日にはご利益談の発表もあり、おうどんのご供養もあります。参詣促進コーナーでは、小さ

なお子さんから大人の方まで楽しめる「ぬり絵」を用意いたしました。ご家族でお寺参詣をしてぬり絵を楽しんで下さい。

二、夏季総回向

7月21日日夏季総回向が本堂では10時より、六角堂では12時半より奉修されます。ご回向、お塔婆は教区でまとめて7月7日日までに寺務所にお申し込み下さい。

「法界群靈ほうかいぐんれい離苦得益りくとくやくぶつ佛果菩提かほだい」のところで志厚く勤めさせて頂きましょう。家族で先祖のお陰やお世話になった方のお陰を話す良い機会です。

今回からバス2台を手配しております。特に、六角堂に納骨をされている方はこの機会に家族揃ってご回向をしましょう。



開導会一口メモ

日蓮聖人の教えを受け継ぎ、室町時代に法華宗八品門流を起こした日隆聖人。

しかし、その流れも江戸時代末期になると妙法口唱一筋の信心は弛ゆるんできました。

そこで、開導日扇聖人は御講という僧侶と信徒が一体となった法要儀式を開発して、法華宗から離れて佛立講を開講しました。

6月の寺内予定

日 程	行 事	時 刻
1日～7日	開講本旨再興祈願朝参詣週間	
1日	⊕ 開講本旨再興祈願総講	10時半
	連宮会議	12時半
	財務委員会	13時半
2日	Ⓜ 開導会奉修費・御供米料、参詣人数締切日	
6日	木 信徒講習会①（総誓願の解説・参詣百日体操）	9時半
8日	⊕ 連合幹事会	9時半
	後続者育成連絡会	10時半
	評議委員会	11時
9日	Ⓜ 開講本旨再興祈願口唱会	9時半
	若い人の口唱会	10時半
	聞信寺団参締切日	
13日	木 高祖大士御命日総講	10時半
15日	⊕ 開導会全体会議・準備ご奉公	9時
16日	Ⓜ 開導会 第1座 第1地区、第2地区（目黒世田谷、品川） 第2座 第2地区（かながわ、多摩）第3地区	10時 11時半
17日	月 夏期参詣御供養御奉公者メ切（おにぎり、うどん）	
22日	⊕ 信徒講習会②（総誓願の解説・参詣百日体操）	9時半
23日	Ⓜ 団参・聞信寺（静岡）開導会；担当第三地区	
25日	火 門祖聖人御命日総講	10時半
	正副教区長会 1地区 2階ホール、2地区 1階ホール、3地区 和室	12時半
30日	Ⓜ 信徒講習会③（総誓願の解説・参詣百日体操）	9時半

4月のご奉公日誌

日尚上人御17回忌法要 佛立本旨講創立記念式典 厳修

4月20日^土、本堂前のつつじが一斉に花咲き、お参詣者をお迎えして日尚上人御17回忌法要を中心とした一連の行事を無事終了しました。

允許状授与式

今回の法要を機会に聞信寺、聞泉寺の御住職に日号にちごうが授与されました。

本堂で御導師から日号授与についてご説明をいただきました

聞信寺住職 志田照堅師

しねんいんにつけん
志念院日堅導師



聞泉寺住職 益田照固師

じゆせんいんにちえん
寿泉院日円導師

「允許状いんきょじょうの允許とは許可するという意味です。日蓮聖人の信仰を受け継ぐ僧侶は、得度した時に所化名しよけいめいと云って教わる立場の名前を受けます。経験を重ねやがて教える立場にすすみ能化ちんわになることを文能昇もんのうしやう晋しんといいます。能化になると日蓮聖人の「日」の一字をい

た。

ただくことを許されます」

式典でのご挨拶

会場を池袋のアカデミーホールに移して行われた式典での御導師のごあいさつ。

(写真②)

「今日はせっかくの機会ですので、いつ

ものグループでまともならず、見知らぬ人とも積極的にお話をして下さい。お互いの仲間意識を広げて、佛立本旨講弘通隆昌発展につなげて行きましょう」

六角堂で奉告式

翌21日^日に六角堂にて、この一年間のご奉公が日尚上人に奉告されました。



①



②



③

立教開宗記念五時間口唱会



4月28日(日)、五時間口唱会で日蓮聖人の立教開宗への報恩の気持ちを一万遍の御題目口に込めました。

富山の有澤直美さんは、この4月から東京の大学生になった息子さんのところに寄り、この日、お参詣できたことを大変喜んでおりました。

平成31年4月行事報告

1日～7日		「開講本旨再興祈願 朝参詣週間」
1日	月	開講本旨再興祈願総講を10時30分より奉修 地区・連合・教区・事務局辞令伝達式並びに 平成31年度ご奉公の誓い(信徒代表)
6日	土	運営会議を9時30分より開催 新参事会を10時30分より開催 開導会奉修本部会議を11時より開催
7日	日	評議員会(正・副議長選挙)を9時30分より開催 開講本旨再興日尚上人御十七回忌法要 奉修費・御香料・お花料御十七回忌・御塔婆・参詣人数・バス申込締切
13日	土	高祖大士御命日総講を10時30分より奉修 連合幹事会を12時30分より開催 後続者育成連絡会を13時30分より開催
17日	水	開導聖人御命日総講を10時30分より奉修
20日	土	開講本旨再興日尚上人御十七回忌法要(右頁写真①)を 10時30分より奉修 佛立本旨講創立記念式典(池袋アカデミーホール)にて 12時30分より開催
25日	木	門祖聖人御命日総講を午前10時30分より奉修 正副教区長会を12時30分より開催 平成30年度後期納金表提出締切
28日	日	立教開宗記念五時間口唱会を9時30分より奉修
六角堂行事		
21日	日	六角堂にて奉告式を11時30分より奉修(同③)

立記念式典

式典は、各地区ごとの日尚上人の思い出、今後のご奉公への決意表明などで進められました。その当日の様子を誌上再現します。



1



2



3



4

【第一地区】

岩淵千尋地区長

若い教区長が多く、日尚上人にお喜びいただけるようご奉公をしてゆきます。

森川信子さん①

今朝は家族揃って朝3時に起きて、御宝前の御給仕をして御看経のあと、福岡から飛行機でこちらに参りました。

住職室でのお給仕のご奉公をしているときに、「おかあさんはお元気ですか」とやさしいまなざしで声をかけていただきました。

岩佐美知子さん②

お話しいただきました。

【第二地区】

五十嵐孝雄地区長

決意表明③

子や孫に信心をのこします。そのために、信心の喜びを伝えます。

例えば、我が家の入信した経緯と乗り越えた数々の病気やケガ、御法様にお願ひする安心と信者仲間の応援祈願などを家族で話し合います。そして、子や孫が御利益感得で信心増進するようにします。

玉得ヨシノさん

乗泉寺の住職に就任する前年に受け持ちの御講師になられ、「マラソンではなく、一步一步自分の出来るご奉公をしてください」と

お話しいただきました。



5



6



7



8

次に、若い人がご奉公で
きるように、私たち信者の
意識改革をすすめます。そ
のために、現在行っている
若い人の口唱会などのご奉
公に次世代の方に参加を奨
めます。連合教区のお役
を若い人にバトンタッチで
きるよう、ご奉公しやすい
環境づくり、若い人が興味
を持つご奉公の提案をしま
す。

中島恵さん④

長野にお供したときの車
での帰り道、随行の御講師
はじめ車内のみんなが睡魔
に襲われました。その時、
日尚上人が自ら運転して車
内の危ない状況を回避して
いただきました。ご想像通
り、全員の眠気も飛んでし
まいました。

全員合唱「春の小川」⑤

【第三地区】
井上京子地区長
ご回向を中心としたお助
行に取り組み、日尚上人が
心をかけていらつしやった
後継者育成のご奉公につな
がっています。

黒田信一さん⑥

水戸教区は、昨年高橋さ
んご一家が引つ越してこら
れて活気あふれる教区にな
りました。
狩野節さん（11頁へ）
【その他写真説明】
⑦抽選会
1等10名は、御導師から直
接景品をいただきました。
⑧第二会場でのビュッフェ
の様子

諦めないご奉公

佐藤 応昇師

三年ほど前に都連合のYさんの所にお助行に行った時の話です。

Yさんは以前は都内に住んでいましたが、退職をきっかけに千葉のいすみ市へと引っ越しをされました。

40年お助行もできず

入信以来、四十年近くお助行を受けておらず、受けてくださるかどうか心配でしたが、連絡をしたところ、喜んで受けてくださいました。

お助行に伺ったところ、御本尊は古い軸の御本尊のまま、御戒壇も昔の小さな御戒壇のままでした。

まず御本尊とお戒壇を

御本尊と御戒壇のお取替えをすすめた所、喜んで受けてくださるとの事で、早速次回の御本尊と御戒壇のお取替のお助行の話をする事ができました。

信心増進のきっかけ

御本尊と御戒壇を新たに受けられたYさんは信心増進を受け、その後もお助行を受けられ、御導師のお助行も受けられ、御会式参詣や御講参詣もされる様になり、東京に住

んでいる親戚の方を将引されるまでになりました。

無理と諦めると

長年お助行にも行かないままで心配でしたが、今では教区の方々とも顔見知りとなり、頑張っておられます。

お互いは、あの人は無理だ、と決めつけずお助行の手を伸ばし続けることが大切です。



後継者育成 お助行よい

人間教区 Sさん

「縦の糸、横の糸」

本日は、Bさん宅にお講師はじめ五人で伺い、後継者育成のお助行させて頂きました。

Bさんは、Iさんはじめ五人の女性と一人の男性から成る六人兄弟です。お父さんは朝一番に御宝前のお給仕をされ、それが終わってから全員揃って朝の食事をする毎日という家庭でした。そんな両親の背中を見て育った子供達で、全員信行相続できているのだそうです。

御講師より「縦の糸がしっかりしていないと、横の糸が通らずきちんとした織物ではありません。Bさんの所はご両親が縦の糸、お子さん達が横の糸ですね。ご弘通で一番大

事なのは信行相続です。」とお話くださいました。わたくし始めBさんご兄弟も教区内の各家庭でも、信行相続や後継者育成のご奉公を本気で考

え、今できる具体的なことを一つ一つ実践させて頂きました。

日尚上人の思い出

名古屋教区 狩野節さん

で命を頂けたのも「定」です。

日尚上人から「定」ということを教えていただきました。戦争をしている国に生まれるのも、貧しい家庭に生まれるのも、裕福な家庭に生まれるのも、それは誰にも決められることではありません。

今は、子供3人の信行相続も成就し、静かに幸せに暮らしております。このご信心を止めずに続けてきたお陰と御法様に感謝しております。

こうした「定」の中で、このご信心に出会い、いろいろな困難を乗り越えることができました。私は幼い頃大病をしましたが、この年、97歳ま



娘たちのご利益

目黒教区 Mさん

二人の娘の転機

今年、娘二人が就職と高校受験という人生の大きな節目を迎えました。

就職成就のご利益

長女は、小さい時からの夢でもあった保育士を目指し勉強してきました。実習が全て終了し、保育園に見学をしたいと連絡すると、あつという間に面接という運びになり、面接日の翌日には合格のお返事を頂くことができました。本人もトントン拍子に話が進み、驚いていましたが、「これもご宝前のお陰だね」と素直に受け止めていました。

合格祈願のご利益

次女は、高校を選ぶ時に、音楽に携われる所を一番に考え、音楽科や吹奏楽部が充実している学校を探すことになりました。目標が決まっているものの、沢山の学校の中から、自分に合う所を選ぶのはとても大変でしたが、「ご宝前にお願ひして頑張る」と本人もしつかりとした気持ちで探すことができました。

受験当日、娘を試験会場に送ってからお寺に行くと、教区の方が「一緒にお看経をあげましょう」と誘ってください、本堂の一番前で懸命にお

題目を唱えることができました。あの時の心強さと嬉しさは今でも忘れません。

お寺で会う皆さんには「応援してるから大丈夫よ。頑張つて」と直接、励ましの言葉を掛けていただき、娘達にも「色々な人が応援してくれているんだ」という思いが伝わり、大きな心の支えになったようです。

私自身もキリキリせず、大らかな気持ちで娘達を応援し、見守ることができました。

二人がそれぞれ、勉強の間や寝る前にご宝前に向かい「実力発揮できますように」とお看経をあげ、真剣に向き合っている姿に、ご信心が少しでも伝わっているのだなと思ひ、嬉しくなりました。

私のよろこび

母の初めてのお懺悔からのご利益

大阪教区 Kさん

御導師から

昨年11月、母の最期について御導師に相談し、「今生で一つでもお懺悔することが大事」と教わりました。母は話せない、首も動かさない状況だったので、お懺悔文を母に読み聞かせ、目線で母の意思を確認しました。12月末、母はご信心を辞めていたことを初めてお懺悔することが出来ました。

百本祈願を

私は唱え死が出来ない状態の母を、今生で助けることが

出来ないと思っていました。

母の事、私達夫婦の諸々のご祈願もあり、「諸願成就」のご祈願を3月1日より1日5本、20日に満願する百本祈願を開始しました。百本祈願のお看経中に、急に涙が出てきて、「今唱えるお題目がご本尊を通じて、母の魂に届け。

来世はご奉公環境に恵まれた家に生まれて、「頑張れ」とお願いしました。

満願の日

20日4時44分、病



十二単 本堂入口に咲きました

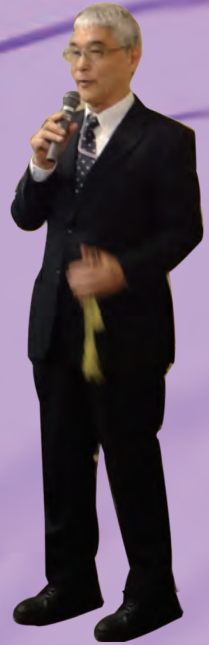
院から「息が荒い」と連絡があり駆けつけると、母は息を引き取っていました。18日に医師から肺炎は治り、近々に退院と告げられていたこと、百本祈願の満願日であったことから、病気全快・生涯現役ご奉公成就のご祈願が叶ったと私は感得しました。広く、深く、多くの事をご法様から教えて頂きました。

★こどもたちの会★

なむひょうほううれんげきょう 「南〇経ってなあに?」

<p>⑥ そうよ。眞実はわからないのよ。</p> <p>それで南〇~経の御本尊に向かって南〇~経って唱えるんだね。</p> 	<p>① あら、良い質問ね。それはね...</p> <p>おばあちゃん、どうしてウチは念仏じゃなくてお題目を唱えるの?</p> 
<p>⑦ 仏様が亡くなつてから、二千年以降の末法という時代に生まれる人々とは、私たちの事なのです。</p> 	<p>② 仏様は三十歳で悟りを開いて、八十歳で亡くなるまでの五十年間に沢山の教えを遺されたのよ。</p> 
<p>⑧ そうなのよ。それを本門八品所願上行所伝本因下種の南〇~経というのよ。</p> <p>じゃあ南〇~経が私たちの為だけに伝えられたの?</p> 	<p>③ 今まで説いたものは準備であって、これから仏の教えの結論、眞実の教えを—</p> <p>と、宣言され、法華経をお説きになったのです。</p> <p>と説くぞ〜!</p> 
<p>⑨ と、お誓いしているのです。</p> <p>私たちの為のお題目を、ご利益を頂ける所までずっと唱え続けます。</p> 	<p>④ その法華経の中に仏様が亡くなって二千年以降...</p> <p>準備と本当の教えと区別があるとは知らなかった〜!!</p> 
<p>⑩ それは良いわね!頑張り続けてきましょう!!</p> <p>私も出掛ける時にはしっかり無始以来をお唱えするネ!!</p> 	<p>⑤ じゃあ何宗でも良いって言っちゃいけないだね。</p> <p>教えが薄れる頃に生まれる人々が救われるように、お題目に仏の智慧をすべて込めたと説かれているそうよ。</p> 

「本日は、御十七回忌のご奉公を奉告する日です。皆さんも、六角堂でお焼香をされる際に、日尚上人へそれぞれのご奉公について報告をしてください」 4月21日(日)、山本事務局長のごあいさつ。



轉教

令和元年6月1日発行 第20巻第6号 通算232号
編集兼発行人 山本久男
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11
TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



info@myooji.com

題 字：水谷日尚上人

表紙絵：石綿悦子（埼玉東教区） モデル：イチゴ（倉井敏子さん）